

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2022～2023年度 国際ロータリー ジェニファー E. ジョーンズ 会長テーマ

IMAGINE ROTARY イマジン ロータリー

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 小川 耕 示
幹事 丹羽 克 誌
会報委員長 石川 友 美

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3176回例会プログラム

[当年度=15回目；当月=2週目]

2022年（令和4年）11月14日（月）
職場例会 於：トヨタ紡織株式会社

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

12:00 〈食事〉

12:30 1. 点鐘……〈会長〉

2. 開会宣言

3. ロータリーソング斉唱……我等の生業

4. 講師・ゲスト並びにビジター紹介

5. 会長挨拶並びに会長報告

6. 幹事報告

7. 出席報告

8. 委員会報告

9. ニコニコボックス報告

10. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(11/21) ……

クラブフォーラム（ロータリー財団委員会）

卓話 「ロータリー財団を活用しよう」

講師 地区ロータリー財団委員会

委員長 高山 景一 様（豊橋 RC）

（紹介者 深谷 嘉英 会員）

※健康診断（職業奉仕委員会）

(11/28) ……卓話

講師 ホスピタリティコンサルタント

三厨 万妃江 様

（紹介者 嶋津 孝久 会員）

2. クラブフォーラム……………〈司会：職業奉仕委員会〉

12:50～ 「ご挨拶」

トヨタ紡織株式会社

代表取締役社長 白柳 正義 様

（紹介者 内藤 昇 会員）

11. 謝辞

12. 諸事ご案内……〈職業奉仕委員長〉

13:00 13. 点鐘……〈会長〉

13:00 見学
～14:00

出席

会員総数 101名 出席免除 25名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠席 14名 出席率 83.91%
前々回（10/27）の修正出席率 100%

会長報告

- 11月12日(土)名古屋観光ホテルにて開催の地区大会
1日目南副会長と丹羽幹事に参加して頂きました。
- 11月13日(日)愛知県国際展示場にて開催の地区大会
2日目に参加してまいりました。参加された会員お疲れ様でした。
- 地区大会にて米山寄付達成クラブとして表彰されました（表彰状はなし）。
- 地区大会にて国際ロータリー ロータリー財団より、エンドポリオ寄付のお礼状が届きました。



刈谷クラブの活動がパネル展示されていました

会長あいさつ

小川 耕示



今日は、職場訪問でトヨタ紡織様に伺いました。小学校の時に生まれて初めて工場見学に来たのがこの工場、紡績工場や紡織工場も見学したとは思いますが、綿がうず高く積まれた倉庫の記憶だけが残っています。当時は、まだまだ繊維産業が盛んで各地に繊維工場があったような気がします。この工場見学を皮切りにその次の工場見学は、発電所で越戸水力発電所を見学しました。ここでは大きな発電機が大きな音をたてて回っていた記憶があります。発電所見学はロータリーでも碧南火力発電所、武豊火力発電所とメガソーラーに行った記憶がありますので、施設見学の王道では無いでしょうか。皆様もいろいろな工場を見学されてきたと思いますが、世代により時代が反映され見学されたところはそれぞれ違いが有ると思います。

さて、ロータリークラブでは職業奉仕が奉仕の根幹であると考えられていて、職業奉仕の理念を学ぶために職場訪問を行なっています。職業奉仕に関する卓話があったのは、地区職業奉仕委員会の村井總一郎委員長にお願いしたのが最後になると思いますので、もうかなりの期間、職業奉仕について学ぶ機会がありませんでした。職業奉仕という言葉はロータリー特有の言葉なので、理解するのが難しいかもしれませんが、自分の職業を通じて世の中に奉仕するのが職業奉仕です。ロータリーができた当時、いろいろな職業を持った者同士がフェアな取引を行えるよう毎週集まり、それがずっと続いてきました。今では、RIの規定が変わり、職業を持たなくても会員となることができ、職業奉仕委員会は、独立した委員会組織として置かなくても良くなりました。しかし、日本のロータリークラブは、今でも職業奉仕をロータリーの根幹であると捉え活動を行なっています。

本日の職場例会では、刈谷ロータリークラブ石田退三初代会長が最初に入社した豊田紡織の職業奉仕の理念を知る良い機会として頂きたいと思います。

職場例会

〈職業奉仕委員会〉

ご挨拶並びに概要説明

トヨタ紡織株式会社

代表取締役社長

白柳 正義 様



本日は、ご多用の中、弊社グローバル本社にお越し頂きまして、誠にありがとうございます。

会社を代表し、ひとことご挨拶申し上げます。

当社は、豊田紡織として、豊田佐吉翁が、織機の開発を通じ「良い織物は、糸にまで遡って取り組む必要が有る」と1918年・大正7年に操業した会社で、今年で104年目を迎えます。また、自動織機完成のためには、営業試験工場を建設する必要があると1923年・大正12年に、ここ刈谷市に豊田紡織刈谷試験工場を新設してから約100年が経ちます。その間、地元の皆様にもお世話になりながら、現在では売上高1兆4千億円、子会社・関連会社は、国内、海外23カ国に合計92社、従業員は海外を含め約5万人となるなどグローバルカンパニーへと成長することができました。

また、刈谷ロータリークラブさんの初代会長は、石田退三さんとお聞きしております。石田退三さんは、この豊田紡織に入社され、その後、トヨタ中興の祖と呼ばれるまで、トヨタグループの発展に貢献された方です。その当時から刈谷ロータリークラブさんと当社は、長きに渡りお付き合いをさせて頂いており、誠にありがとうございます。

皆様ご存じのとおり、現在自動車業界は100年に一度の大変革期と言われております。

当社は、その先の“明日の社会”においても、源流事業である繊維事業を守りつつ、ここ刈谷で製造しておりますフィルター製品などの「ユニット部品事業」をはじめ、「シート事業」「内外装事業」において、世界中のお客様に、感動を織りなす移動空間を提供し続けられるよう、社員一同努力しております。

さらに、2050年に向けては、第4、5の柱となる事業を創出すべく、食料問題の解決に貢献するポテンシャルのある、起潮力など、新技術の開発を推進するなど、新たな価値づくりを目指しております。将来に向けても、地元の皆様と共に成長し続けられる会社であるよう努めてまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。

なお、それらの活動については、このホール横のロビーにも展示しておりますので、是非、ご覧頂きたいと思っております。

さて、この後、ご視察頂きます、歴史未来館は、トヨタ紡織創業100周年を記念し、その歴史を伝えるとともに、豊田綱領の精神である「世のため 人のため」の志を受け継ぎ、トヨタ紡織グループの未来への貢献に対する決意や想いを、社内外に広く伝える場として建設しました。本日、皆様にご来場頂きますこと、心よりお礼申し上げます。

最後になりますが、今後の、皆様の益々のご繁栄を祈念致しまして、簡単ではございますが、私のご挨拶に代えさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。



南 副会長

